

<b>WS-29-a</b>	牟田広実	飯塚市立病院	小児科での禁煙支援は、医師だけでなく受付・看護師・薬剤師など多彩な職種がそれぞれの立場で関わることができます。またその対象も、周囲の大人たちだけでなく、喫煙を開始してしまったこどもたちの場合もあり、それぞれアプローチが異なります。 本WSでは、模擬患者さんに対するロールプレイを通じて、小児科での禁煙支援を上手にすすめるための実践的な学びを行います。禁煙支援の経験がない方も、困った症例がある方も、御参加をお待ちしております。
	野田 隆、高橋裕子		
<b>明日からもっとうまくなる 小児科での禁煙支援</b>			
WS参加人数	WSタイプ	A	当日参加 不可
<b>35人</b>	参加費	無料	対象 制限なし

<b>WS-29-b</b>	杉原 桂	多摩ガーデンクリニック	NLPとは神経言語プログラミング; Neuro Linguistic Programmingの略です。 NLPのスキルは人の意識を変え、問題を新しい視点でとらえ、望ましい状態を創ります。 NLPの前提に「コミュニケーションとは相手の意欲を引き出すこと」というものがあります。あなたのコミュニケーションははたして、本当の意味で相手の意欲を引き出していますか？もしそれが自由自在にできたとしたら、あなたはどんな変化を引き起こすことになるのでしょうか。そんな未来を創り出してみませんか？
<b>医療者のためのNLPワークショップ</b>			
WS参加人数	WSタイプ	B	当日参加 不可
<b>30人</b>	参加費	¥1,000	対象 制限なし

<b>WS-29-c</b>	田中秀朋	あかちゃんとかどものクリニック	健康教育は、学校にとって学力向上と並んで大きな目的の一つである。養護教諭・一般教諭・学校医と学校保健に関わるいろいろな立場があり、それぞれに異なった視点から子どもに関わっている。さて、2008年から麻疹・風疹の撲滅を図るべくMRワクチンの3期・4期の実施が始まった。小学校入学前の2期・中学入学後の3期・高校3年相当の時期の4期のMRワクチン接種率はあげられるのであろうか。それぞれの学校でなされている工夫、その効果、あるいは接種率があげられない問題をかかえている学校があるならば、それらを提示していただき、改善に向けた具体的な方法を考えていきたい。学校医のみでなく、多職種の方々に参集していただき実態を報告しあい、互いの立場を理解しながらよりよい具体策を模索したい。
	岩田祥吾、高田 修、谷村 聡、町田 孝		
<b>学校で健康を考えよう ～MRワクチン接種率を上げる工夫など～</b>			
WS参加人数	WSタイプ	C	当日参加 不可
<b>40人</b>	参加費	無料	対象 養護教諭・一般教諭・学校医など(制限なし)

<b>WS-29-d</b>	伊藤雄平	久留米大学 医療センター小児科	調査研究方法検討会はリサーチ委員会に属し年3回開催しています。会員みなさんのリサーチ活動のお手伝いをしております。昨年に引き続き入門編として、第5回ミニ検討会を開催致します。どんな事をしているのか知ってもらい、リサーチをより身近に感じてもらえれば幸いです。日常診療でのちょっとした疑問や、アイデア、検討したい研究内容などありましたらご連絡下さい。この会で取り扱うテーマ内容や研究の段階には制約がなく、研究のアイデアの段階から結論に至ったものまで幅広く扱っています。ふとした疑問が、新しい発見や研究への第一歩です。この機会を是非ご利用下さい。一般の学会発表と違い、素朴な疑問を自由に質問・検討できる会です。演題なしでの参加も大歓迎です。もっと気楽にリサーチしてみませんか！
	杉村 徹		
<b>第5回ミニ調査研究方法検討会</b>			
WS参加人数	WSタイプ	C	当日参加 可
<b>40人</b>	参加費	無料	対象 制限なし

<b>WS-29-e</b>	片岡 正	かたおか小児科 クリニック	電子カルテの普及に伴って患者さんにカルテ内容や検査結果を印刷して手渡す医療機関が増えてきています。診療の補足説明を文書で交付したりすることも多いと思います。患者さんへの情報開示の効率的な方法、開示するに足るカルテの記載法など、経験を持ち寄って集積したいと考えています。
<b>カルテ開示・診療情報提供を考える</b>			
WS参加人数	WSタイプ	C	当日参加 可
<b>30人</b>	参加費	¥1,000	対象 制限なし

[WSのタイプ] A：意見を出し合ってproductをつくるもの B：参加者と討議しながら理解を深めるもの C：AとBの中間型

<b>WS-29-f</b>	新井 勝	あらいクリニック	<p>難病患者家族に対してどのような支援制度があるのか、また患者のための会はあるのかなどについて、必ずしも十分な情報が得られていません。このWSでは、患者家族、医療、教育、行政、などの立場からの報告と提言をしていただき、お互いの理解と協力関係を深めていきたいと思ひます。</p>
	<b>難病を持った子どもと家族への支援</b>		
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	<p>可</p>
<b>30人</b>	B	参加費	
		参加費	対 象 制限なし
		参加費	対 象 制限なし

<b>WS-29-g</b>	和田 浩	健和会病院	<p>小児科外来での医学生・研修医教育の際に、学生や研修医をどのように評価したらいいでしょうか。外来診療の忙しいことや研修期間が短いことなどから、評価はむずかしいという声をよく聞きます。研修態度やコミュニケーション、診察技能を評価する方法はあるのでしょうか。今回は吉村学さん(揖斐郡北西部医療センター)をお招きして、外来教育で使えるさまざまな評価方法を学びます。 きっと「これならできる」という評価方法が見つかりますよ。</p>
	<b>小児科外来教育の評価方法</b>		
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	<p>可</p>
<b>40人</b>	C	参加費	
		参加費	対 象 制限なし
		参加費	対 象 制限なし

<b>WS-29-h</b>	清水 健	しみず小児科	<p>電子カルテ開発プロジェクト ANNYYS で前回3種類のレセコンにつながることを確認できた。今回使いやすいファイルメーカーで作業を行い、安定し、更に高速に動く、世界で多く使われているSQLserverをデータベースに使用して、より快適な電子カルテに変更中である。説明よりも実際に触って使えるように取り組みたい。 パソコン持参で FMVer9.0 以降が必要。参加者の希望から使いやすい電子カルテをめざす。</p>
	<b>電子カルテ開発プロジェクト ANNYYS 研究会</b>		
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	<p>可</p>
<b>40人</b>	B	参加費	
		参加費	対 象 制限なし
		参加費	対 象 制限なし

<b>WS-29-i</b>	島田 康	しまだ小児科	<p>WS未体験で、どんな雰囲気なのか体験してみたいと思われている方、参加してみませんか。WS応募から始まり、SNSを用いたプレ討論、そして当日の討論までの「WS体験」が出来ます。</p>
	<b>ワークショップ (WS) を体験してみませんか</b>		
<b>—会員のWSへの参加支援 第2回—</b>			
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	<p>可</p>
<b>40人</b>	B	参加費	
		参加費	対 象 制限なし
		参加費	対 象 制限なし

<b>WS-29-j</b>	黒木春郎	外房こどもクリニック	<p>私たちの日常診療、業務には些細なことから大きな問題まで様々な課題があります。こうした課題に応じていくために、学会活動があり学会誌に掲載される論文があります。論文を読んでいくことで私たちが自分たちの日常診療を常に新しいものしていくことができます。 このWSでは実際の論文を素材として、問いのたて方から研究デザイン、研究方法など様々な視点からの読み方を紹介する予定です。</p>
	<b>論文の読み方から始めてみよう</b>		
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	<p>可</p>
<b>30人</b>	B	参加費	
		参加費	対 象 制限なし
		参加費	対 象 制限なし

[WSのタイプ] A: 意見を出し合って product をつくるもの B: 参加者と討議しながら理解を深めるもの C: AとBの中間型

<b>WS-29-k</b>	宝樹真理	たからぎ医院	ヒブワクチンなど、新しいワクチンの認可が進むでしょう。そこで、世界の子も達が受けているワクチンとその対象疾患について、一緒に勉強しましょう。
	太田文夫		
<b>未認可ワクチン（ワクチン対象疾患）について勉強しませんか？</b>			
WS 参加人数	WS タイプ	C	当日参加 不可
<b>40人</b>	参加費	無料	対 象 制限なし

<b>WS-29-l</b>	福武典子	たはらクリニック	各地で行われている育児支援活動をもちよって頂き、期待される育児支援とは、どんなことができるかについて意見交換します。育児支援を始めた動機や、続けていくための秘訣など、現場へのフィードバックをよりスムーズにおこなえるスキルを共有したいと思います。
	寺田ともゑ、赤平幸子、徳光幸子		
<b>クリニックにおける育児支援のありかたについて（パート3）</b>			
WS 参加人数	WS タイプ	B	当日参加 不可
<b>35人</b>	参加費	有料	対 象 制限なし

<b>WS-29-m</b>	佐古篤謙	奈義ファミリークリニック	日常の外来診療で、「どうしてこんなに頻繁に受診するのか？」「この親御さんとうまく関係を築けないのか？」「治療が必要なのにどうして通院してくれないのか？」といった思いをもつことはありませんか？そんな時、目の前の親子のみならず、その背景となる家族の状況に目をむけることによって、解決の糸口がつかめることがあります。WSでは「家族志向のケア」の基本を、ロールプレイなどを通して楽しく学びましょう！あなたも外来診療で「家族」と積極的にかわりたくなるはず！初めての方、リピーターの方、いずれも大歓迎です。日頃の家族とのかかわりかたを振り返ってみたい方にもおすすめです。
	田中久也		
<b>家族志向の小児ケア</b>			
WS 参加人数	WS タイプ	B	当日参加 可
<b>40人</b>	参加費	¥1,000	対 象 制限なし

<b>WS-29-n</b>	松田 隆	まつだ小児科医院	小児期からの靴教育（靴育）や子どもの足を健やかに育てる足育を進めていくために、校医、園医、医療・保育従事者、保護者ができることなど、現場で、実際に何が必要で、どんな情報を共有できれば良いのか、学校や園、医療機関、家庭の三者がそれぞれどのように協調して行けば子ども達の足を健やかに育てられるのか？
	多和田忍、永井恵子、片瀬真由美、内田俊彦		
<b>子どもの足を考える パート2 小児期からの靴教育(靴育)と足育と遊び</b>			
WS 参加人数	WS タイプ	C	当日参加 可
<b>40人</b>	参加費	¥1,000	対 象 制限なし

<b>WS-29-o</b>	石井美智代	シロアムこどもクリニック	2回目の開催である。前回は、事故防止活動には、①実際に誤飲した物や誤飲チェッカー等を用いた具体的な指導、②全職種が協力して取り組むこと、さらには、③保護者を惹きつける話し方の工夫が必要であることで意見が一致し、各施設で取り組むことが決まった。
	木下博子、池田美枝子		
<b>コメディカルスタッフが出来る 事故防止活動 その2</b>			
WS 参加人数	WS タイプ	C	当日参加 不可
<b>40人</b>	参加費	¥500	対 象 医師以外

[WSのタイプ] A：意見を出し合って product をつくるもの B：参加者と討議しながら理解を深めるもの C：AとBの中間型

<b>WS-29-p</b>		吉田 均	よしだ小児科クリニック
<b>新型インフルエンザ ～医院での対策を考えてみませんか～</b>			
WS参加人数	WSタイプ	B	当日参加 不可
<b>40人</b>	参加費	¥1,000	対 象 医師

パンデミックは、いずれ必ず到来するといわれています。その際の対応として、通常と同じスタイルでの診療、防護具での診療、あるいはご家族の安全を考えて診療しないなど、いろんなお考えがあると思います。WSでは、まずウイルスの弱点と防護具の効果を学習し、それらを試着。そして、医院での対策について自由に意見を交換します。このWSはお互いの多彩な意見を知ることが目的であり、特定の考えを押し付けるものではありません。診療するかお迷いの方はとくに大歓迎です。

<b>WS-29-q</b>		西田啓子	にしだ助産所
		伊藤智子	
<b>スリングを科学してみませんか？</b>			
WS参加人数	WSタイプ	A	当日参加 不可
<b>20人</b>	参加費	¥500	対 象 助産師、看護師、保育士、医師

近年のスリングの普及に伴い、様々な姿勢で赤ちゃんがスリングに入っている光景を目にします。スリングの使い方は様々です。また、使い方について成書は見つかりません。このWSでは、主に助産師と看護師が中心になり、スリングについて考えてみたいと思います。今回は、事前にスリングを使用している様子をビデオで撮影し供覧し、行動観察法のエピソード記録法で解析を行います。その結果から、どのようにしたら、スリングを使用している赤ちゃんについて研究することができるか、参加者で考えてみたいと思います。

<b>WS-29-r</b>		藤田 位	藤田小児科医院
		日野利治、木下 洋	
<b>診察技法を見直そう (人の振り見てわが振りなおせ)</b>			
WS参加人数	WSタイプ	A	当日参加 不可
<b>15人</b>	参加費	¥5,000	対 象 医師のみ

診察技法を独学で学んで来たものの、その技術に物足りなさを感じているベテラン医師や、学生時代にOSCEで学んだが今行っている診察技法に不安を感じている若い医師たちのためのWSです。自分の診察場面のビデオを撮影し持参していただき、その診察技術を参加者とOSCEの専門家と患者の立場の代表者たちとで客観的に評価しあいます。小児診療の基本である新しい診察技術をみんなで考えていきましょう。

<b>WS-29-s</b>		藤野 浩	藤野医院
<b>チョット気になる新生児の 疾患・病態を見直そう。</b>			
WS参加人数	WSタイプ	B	当日参加 可
<b>40人</b>	参加費	無料	対 象 医師、看護師

日々の診療でよく見かけるけれども‘本当にこの説明でよいのかな?’、‘この病態ってどうなっているの?’と行った病気や病態について、新しい知見も交えて皆さんと考えてみようと思います。皆さん、もう一度学生に戻った気持ちになって、判らないことやもう少し詳しく知りたいことなどを勉強して見ませんか。

<b>WS-29-t</b>		朝賀智恵子	くまがいこどもクリニック
		櫻井淑子、道之前直美、金武恵美	
<b>看護師にできる、低学年の肥満児指導のためのリーフレットをつくりませんか</b>			
WS参加人数	WSタイプ	A	当日参加 不可
<b>30人</b>	参加費	無料	対 象 看護師

近年、子供たちをとりまく生活環境が急速に変化し、肥満児が増えています。しかし、その指導はというと、各家庭により生活環境が異なることもあり、一般的なリーフレットを渡すに過ぎませんでした。果たして、それがどのくらい活用されているのかも疑問でありました。そこで、肥満指導の第一歩として、肥満児自身に意識を高めてもらうことを目的としたリーフレットをつくり、活用できればと考えました。低学年の肥満児でも理解できる内容で、肥満がどうしていけないのかが分かりやすく書かれたリーフレットを一緒につくりませんか。

[WSのタイプ] A：意見を出し合って product をつくるもの B：参加者と討議しながら理解を深めるもの C：AとBの中間型

<b>WS-29-u</b>	後藤洋一	後藤こどもクリニック	乳幼児健診の栄養指導に限界を感じていませんか。前回のWSで、栄養指導に不安をもっているスタッフが多くいることがわかりました。現場では、母親達の食に対する不安や質問は多く見られます。母親達が元気になれるような栄養指導のあり方を探ると共に、スタッフの栄養指導に対する不安を解消できるようなWSを目指します。
	今井玲子、高田礼子、後藤素子		
<b>母親にとって魅力ある乳幼児健診を探る！パート2 栄養相談</b>			
WS参加人数	WSタイプ	B	当日参加 不可
<b>40人</b>	参加費	¥1,000	対象 看護師、保育士、医師

**8月30日** 午前9:15~12:00 **年次集会ホームページから事前参加登録をお願いします。**

<b>WS-30-a</b>	齋藤栄二	あおば薬局	医療機関には沢山のポスターやお知らせの掲示物があります。その掲示物は、はたしてきれいにセンス良く張れているのでしょうか？一番見てもらいたいものの効果的な張り方などを考えつつ、参加者には掲示物の張り方を事前調査し、それについて話し合いを進める予定です。そして最後には実際に張ってもらい皆さんで考察を！と考えて居ります。「この乱雑に張られているポスターどうにかならないかしら？」と考えている方、みんなで一緒にきれいな掲示を考えてみませんか？
	長谷真寿美、浅井聖士、三浦哲也		
<b>魅せる掲示！魅せない掲示！</b>			
WS参加人数	WSタイプ	C	当日参加 不可
<b>24人</b>	参加費	¥500	対象 制限なし

<b>WS-30-b</b>	高橋 肇	はじめこどもクリニック	子供の服薬指導をテーマに今回は、 1. 食物アレルギー患児への服薬指導の工夫と注意点（アレルギーの特定されている場合と家族歴や症状があるのに検査をしていない場合のそれぞれについて）。 2. 実際に味見をしながら苦い薬の飲ませ方を工夫する。 3. 小児のジェネリック医薬品に対する疑問や問題点を話し合う予定です。 初めての方でも何か聞きたいことがあればどうぞ。
	高橋めぐみ、堀江浩一		
<b>服薬指導</b>			
WS参加人数	WSタイプ	C	当日参加 可
<b>40人</b>	参加費	¥500	対象 制限なし

<b>WS-30-c</b>	川上一恵	かずえキッズクリニック	女性医師は、結婚、配偶者の転勤、妊娠、出産、育児、更年期、家族の介護などさまざまな理由で仕事を続けて行くことの困難さに直面します。本WSでは、それらの問題を経験談などもまじえてとりあげ、個人、職場、学会というようにさまざまなレベルでの対処法をまとめ、将来への指針をつくっていきたいと考えています。 女性医師はもちろん、妻が医師という男性会員の参加も歓迎いたします。
<b>女性医師の仕事と私生活の両立を考える</b>			
WS参加人数	WSタイプ	C	当日参加 可
<b>40人</b>	参加費	無料	対象 制限なし

[WSのタイプ] A：意見を出し合って product をつくるもの B：参加者と討議しながら理解を深めるもの C：AとBの中間型

<b>WS-30-d</b>		江上 聡	自治医科大学
<p>現在、小児肝移植は末期小児肝疾患、代謝性疾患の最後の治療として確立されつつあるが、元気を取り戻した患児の術後経過において一般的な小児疾患も罹患する。そのための外来受診の際に外来医が遭遇する患児に対する医療的な問題点や不安、対応策、経過観察の方法について検討したい。</p>			
<p><b>外来小児科医が遭遇する肝移植術後患児</b></p>			
WS参加人数	WSタイプ	B	当日参加 可
<b>40人</b>	参加費	無料	対象 制限なし

<b>WS-30-e</b>		野田 隆	のだ小児科医院
		高橋裕子、牟田広実	
<p>忙しい一般外来、説明しなければいけないことがいっぱいある乳児健診、そんなときに読んでおいてください、とA4一枚程度の紙ベースの資料があると便利だとは、思いませんか？</p> <p>また前はぜんそく発作で余裕がなかったが、今回は発作が落ち着いてゆったりと待合室で待っている保護者にスムーズに読んでいただけるような資料を作成してみませんか？</p> <p>すべての職種の禁煙してもらいたいという希望を託す資料を多種作りましょう。</p>			
<p><b>禁煙支援資料をつくろう</b></p>			
WS参加人数	WSタイプ	A	当日参加 可
<b>40人</b>	参加費	¥500	対象 制限なし

<b>WS-30-f</b>		白川佳代子	しらかわ小児科医院
		宮崎雅仁、上原伊都子、豊川達記、松田 明	
<p>子どもの描く絵は、私たち読み手にさまざまな思いを伝えてきます。それは子どもの喜びであったり、悲しみや怒りであることもあります。また子どもの絵は、古今東西共通の発達段階を通るので、その子どもの発達段階を如実に示します。過去のWSで情緒発達や認知発達の勉強をしてきましたが、まだまだわかっていないこと、勉強しなければならないことはたくさんあります。</p> <p>今回のWSでは、これまで勉強してきたことを少しまとめて、子どもの絵から子どもの情緒と認知をバランスよく読み取るにはどうすればよいか勉強したいと思います。</p>			
<p><b>子どもの絵が表現する情緒と認知を読む</b></p>			
WS参加人数	WSタイプ	B	当日参加 不可
<b>30人</b>	参加費	無料	対象 制限なし

<b>WS-30-g</b>		平岩幹男	office21kitatoda
		関口進一郎	
<p>思春期の子どもたちは性の問題を抱えることがしばしばあり、私たちが対応を迫られることがしばしばあります。もちろん若年妊娠やレイプ、性感染症など多くの問題があり、教育や現実的な対応も含めて考えていかなければいけない問題は山積みです。</p> <p>是非善悪の議論ではなく、子どもたちの視点に立って、この問題を考えてゆきたいと思います。困ったケースや問題を含めて、明日からどう対応してゆくのか、みんなで考えて見たいと思います。</p>			
<p><b>思春期の性の問題を考える：他人事ではない</b></p>			
WS参加人数	WSタイプ	B	当日参加 可
<b>40人</b>	参加費	無料	対象 制限なし

<b>WS-30-h</b>		千原 克	ちはら小児科
<p>8回このテーマでワークショップを行ってきました。今、医療崩壊や、小児科の危機などが叫ばれている、先の見えないときだからこそ、医療従事者は、患児やその家族とのつながりに目を向けたいと考えます。</p> <p>グリーフケアは、いくら話しても終わることのないテーマだと思います。今回も、亡くなられた患児の家族と医療従事者との、より良いコミュニケーションの方法を、皆で考えていきたいと考えています。</p>			
<p><b>亡くなられた患児の家族とのコミュニケーション (その9)</b></p>			
WS参加人数	WSタイプ	B	当日参加 可
<b>30人</b>	参加費	無料	対象 制限なし

[WSのタイプ] A：意見を出し合って product をつくるもの B：参加者と討議しながら理解を深めるもの C：AとBの中間型

<b>WS-30-i</b>	澤田 敬	高知県立中央 児童相談所
	新津直樹、小池茂之、藤田一郎	
<b>あまえ療法 (その5)</b>		
WS 参加人数	WS タイプ	当日参加
<b>40人</b>	<b>B</b>	<b>可</b>
	参加費	対 象 制限なし
	<b>無料</b>	

あまえ療は、子どもの好きな人なら誰でもできる。一昨年までの4回で、あらゆる職種の人から「あまえることにより心身症や異常行動が消失した」と経験談が発表された。昨年は第11回世界乳幼児精神保健学会世界大会(横浜)に、保育士、心理士、医師等があまえ子育て、あまえ療法について計7題発表し、世界の人から高く評価された。あらゆる職種の立場から意見を出し合い、あまえについての見識をより深めてゆきたい。またあまえ受容出来ない父母に対する介入方法を皆で探ってゆきたい。

なお「甘えの研究」、「甘えを全世界に紹介」をした、土居健郎先生が、世界乳幼児精神保健学会最高の賞である「スピッツ賞」を横浜大会で受賞した。

<b>WS-30-j</b>	乾 浩明	
	岩田祥吾、杉原桂、松永貞一、チーム麻しんゼロ有志	
<b>アドボカシーは市民の中へ</b>		
WS 参加人数	WS タイプ	当日参加
<b>40人</b>	<b>C</b>	<b>可</b>
	参加費	対 象 制限なし
	<b>無料</b>	

アドボカシーをさらに進めて行く時に、たとえば、予防接種の推進を、地域運動・市民運動としてまで盛り上げて行こうとした時に、その対象はママ、パパ、祖父母、サラリーマン、学生、フリーターと、立場も地位も社会的属性も一括りにできない。こういった集団(または集団に属さない市民)に、どう働きかけるか? 「麻疹撲滅」の横断幕をかかげて、他流試合として市民の中に飛び込んで行った自転車レースやマラソンなどスポーツイベントでの、市民の共感性を振り返りつつ、さらなる共感の場を求めて、医療者からも、非医療者からも、発言のできる真摯なWSを目指していきたい。

<b>WS-30-k</b>	仙敷義和	信栄調剤薬局
	上荷裕広	
<b>薬剤情報の提供を考える (その9) クラバモックス DS の飲ませ方</b>		
WS 参加人数	WS タイプ	当日参加
<b>35人</b>	<b>A</b>	<b>不可</b>
	参加費	対 象 制限なし
	<b>無料</b>	

今回は、『クラバモックス DS』を題目に薬剤情報提供の文章を「薬効・副作用・服用上の注意等」について討議しながら作成していく。この薬は服用方法や保存が特殊な為、ここを重点に討議して、色々な患児に対応できる服用方法を作成したい。

<b>WS-30-l</b>	佐々木邦明	佐々木こども クリニック
	北原文徳	
<b>こども達に悲しみや辛さを伝える絵本 小児科医と絵本の会</b>		
WS 参加人数	WS タイプ	当日参加
<b>30人</b>	<b>B</b>	<b>不可</b>
	参加費	対 象 制限なし
	<b>¥1,000</b>	

絵本には、不思議な力が潜んでいます。今回はその中から「こども達に悲しみや辛さを伝える絵本」を選んでみましょう。小児科医が一番知恵を絞らなければならないのは、医学の力が及ばなくなったり、不慮の事故に遭ったり、虐待を受けたり、家族の不幸に遭遇したり…こども達が不条理な悲しみや辛さに耐えなければならなくなったときです。選び出した絵本を読み合いながら、悲しみや辛さの意味を探って、こども達の心を和ませる言葉を探してみましょう。

<b>WS-30-m</b>	斉藤 匡	国保多古中央病院
	黒木春郎、前原幸治、笹野規子、涌水理恵、西垣佳織、広野優子	
<b>外来での医療事故を根本原因分析により 解析する</b>		
WS 参加人数	WS タイプ	当日参加
<b>30人</b>	<b>A</b>	<b>可</b>
	参加費	対 象 制限なし
	<b>¥1,000</b>	

皆さんのクリニックでは、外来で起こるひやり・ハット(インシデント)事例をいかに分析し活用されているでしょうか? 今年の質的研究方法検討会WSは、事前登録していただいた方々から実際に体験したインシデント事例を集め、質的研究の手法を用いた事例の分類と根本原因分析法を用いた分析を体験していただくとう企画しました。医療安全の研修を通して、外来診療の質の向上をはかることを目標とします。クリニックや病院単位での様々な職種の方々のご参加をお待ちしています。

[WSのタイプ] A: 意見を出し合って product をつくるもの B: 参加者と討議しながら理解を深めるもの C: AとBの中間型

<b>WS-30-n</b>	及川郁子	聖路加看護大学	<p>昨年までは外来での看護学生の実習について検討してきました。 今回は、看護学生と看護師、または看護師単独で実施できる「子どもと家族のためのヘルスプロモーションプログラム ①診察ってなに?②吸入ってなに?③予防注射ってなに?」の実演紹介を行います(時間によっては変更有り)。 多くの看護師の方に外来で実施していただくための方策を話し合い、子どもの健康教育のありかた、看護師の健康教育への支援方法、看護学生の外来実習での学びについて考えていきたいと思っています。</p>
	長谷川桂子・濱中喜代・川口千鶴		
<b>外来看護の検討 (3)</b>			
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	不可
<b>40人</b>	C	参加費	¥300
		対 象	看護師のみ

<b>WS-30-o</b>	吉永陽一郎	吉永小児科	<p>入院している施設とは違う、小児科外来での保育士の仕事内容、可能性について検討します。アイデアを出し合って、明日からの外来での保育を、より魅力的なものにします。 また、日本外来小児科学会には、医療保育士ネットワークがありますが、現在十分に機能しているとは言えません。このワークショップをきっかけとして、保育士が全国の仲間とつながり、より充実した保育を目指すために、ネットワークの再構築と今後のあり方を検討します。</p>
	島田 康		
<b>ようこそ、保育士ネットワークへ</b>			
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	可
<b>30人</b>	A	参加費	無料
		対 象	制限なし

<b>WS-30-p</b>	田草雄一	ぼよぼよクリニック	<p>「思いやりの医療を考える会」は人にやさしい「思いやりの医療」を創造することを目的とした会です。 これまで、①患者さんの声をお聴きして医療者と患者さんが心を寄せ合う意見交換会、②患者さんと医療者が仲良くなるための高塚人志さん(ヒューマンコミュニケーション)や塚原成幸さん(臨床道化師)らのワークショップを開催しています。 今回はみなさんへ「思いやりの医療」について体感しながら考えていただく機会にさせていただくために、塚原さんをお招きしてワクワク楽しく、ドキドキ体験する、参加型のワークショップをご提供いたします。</p>
	岡原仁志、塚原成幸		
<b>思いやりの医療ってなんだろう! ? —ユーモアコミュニケーション体験を通して考えよう—</b>			
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	不可
<b>40人</b>	B	参加費	¥2,000
		対 象	制限なし

<b>WS-30-q</b>	江原 朗	北海道大学大学院医学研究科 予防医学講座公衆衛生学分野	<p>小児科医(特に勤務医)の過重労働が社会問題化しています。労働法規を遵守した医療体制を構築しなければ、持続性ある医療提供体制は確立できません。 このテーマは小児科勤務医を対象とするかと思いますが、開業医・勤務医を問わず、持続性ある医療提供体制を築くにはどうしたらよいか、皆さんで検討したいと思います。</p>
<b>労務管理と小児科医について</b>			
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	可
<b>40人</b>	B	参加費	無料
		対 象	医師

<b>WS-30-r</b>	島田鶴代	しまだ小児科	<p>クリニックを開業して、いろんな目に見えないサポートをしなければならぬ私達、たとえば、人と人とのつきあい方、院内学習のあり方、少ないスタッフでの医院運営のあり方など、経営を影で支える私達の日頃の疑問、質問などを参加の皆様と考えていき、これからの、より良い方向性を探す事が出来るようにと、今年も話し合いたいと企画しました。今年は、2007年と同様に社会見学も予定しています。</p>
	原 澄江、岩間由美、井上悦子		
<b>助力者の会 クリニックを支えるために</b>			
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	不可
<b>40人</b>	B	参加費	¥5,000
		対 象	小児科開業医婦人(女性のみ)

[WSのタイプ] A: 意見を出し合って product をつくるもの B: 参加者と討議しながら理解を深めるもの C: AとBの中間型

<b>WS-30-s</b>	村上綾子	あきつこども クリニック	<p>外来でよく見かける病気を中心に、非侵襲的なエコーを活用していくためのWSです。</p> <p>外来で経験する症例の提示と、後半は実際にエコーをあてることにより、実践力をつけることが目的です。</p>
	<b>外来で有用なエコーの実践</b>		
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	
<b>25人</b>	<b>B</b>	<b>可</b>	
	参加費	対 象	
	¥1,500	医師、検査技師	

<b>WS-30-t</b>	伊藤智子	井口産婦人科 小児科医院	<p>乳児のハイハイについて勉強するWSです。ハイハイを事前にビデオで撮影し、行動観察という方法で分析をしますが、この研究方法について討論を行うことをとおして、ハイハイを勉強します。これまでの結果から、乳児はハイハイをする前後で、視線の方向や注視する時間が変化する可能性があると思われます。今回は、実際にハイハイできる前と後の乳児がうつぶせ姿勢になったときの視線の変化を供覧して、研究のために必要な条件や方法を参加者全員で討論します。WS終了後に研究計画案を作成する予定です。</p>
	<b>外来小児科でハイハイの研究</b>		
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	
<b>15人</b>	<b>A</b>	<b>不可</b>	
	参加費	対 象	
	¥500	医師、看護師、理学療法士、臨床心理士、助産師 (学生を含む)	

<b>WS-30-u</b>	松浦伸郎	松浦医院	<p>新型インフルエンザ対策は成人小児を含めた医療全般の中で、行政対応を含め災害に準じてその対策を考えなければならない。一方何が本当なのか分からなくなるほど情報は過多である。もし新型インフルエンザが発生した場合、医療機関としてどのような対策をとるのが最善の道か考えると、都市部や地方、あるいは地域の特性、医療機関の規模、等々様々な要件により対策が変わってくると思われる。</p> <p>ここでは外来小児科の立場から新型インフルエンザ発生時の対策を検討してみたい。</p>
	<b>新型インフルエンザ対策を考える</b>		
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	
<b>40人</b>	<b>A</b>	<b>不可</b>	
	参加費	対 象	
	無料	医師 看護師、 薬剤師	

<b>WS-30-v</b>	河村一郎	かわむら小児科	<p>日常の診療で保護者の方から子育てについての悩みなど相談を受けることも多いかと思えます。</p> <p>このWSでは、日常遭遇しうる相談場面を想定してロールプレイを行い、それを通して、聴くためのカウンセリングスキルを学んだり、患者さんの気持ちを理解したりするものです。</p> <p>ビデオを再生しながら心理士の先生や参加の皆さんにコメントしていただきます。</p> <p>今年も参加者全員でロールプレイをしてみたいと思っています。</p>
	<b>あなたの声を聴きたくて —子育て相談や親の不安へのカウンセリング 的対応を学ぶ (パート5)</b>		
WS参加人数	WSタイプ	当日参加	
<b>30人</b>	<b>B</b>	<b>不可</b>	
	参加費	対 象	
	¥2,000	医師、看護師	

[WSのタイプ] A：意見を出し合って product をつくるもの B：参加者と討議しながら理解を深めるもの C：AとBの中間型